

令和7年度 第1回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月22日（木） 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 田口 博、鶴屋 義照、柳川 樹一郎、清水 哲夫、外波山 裕康、
望月 真菜(学校支援コーディネーター兼務)、大石 絵理、中村 真弓
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 齋田 剛志（白脇協働センター コミュニティ担当）
- 6 学 校 神 宏之（校長）、廣野 希代美（教頭）、安川 剛史（教頭）、
榛葉 崇文（主幹）、植田 敬子（CSディレクター・学校支援コーディネーター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子
- 10 議長の選出

司会の榛葉から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鶴屋副会長からの推薦により、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）白脇小学校運営基本方針について（昨年度第3回にて承認を得ているため、校長より確認のための説明を行う。説明に対する質問はなし。）
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について
- （3）学校運営協議会の自己目標の決定
- （4）夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の榛葉から、委員総数全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営協議会の円滑な進め方について

司会の榛葉より規則の重要事項を音読し、「特色ある学校づくりを推進するため、地域と学校が一丸となって子供を育てていく」ことへの再確認を行う。

（2）白脇小学校運営基本方針、いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針および、いじめ防止等のための基本的な方針について説明がある。主な内容は、以下の通りである。

・ 白脇小学校グランドデザインの要点説明

課題解決、困難なことにも「粘り強く」「柔軟に」考え、立ち向かえる逞しい子を育てていくこと。

・ いじめ防止等のための説明

いじめの3要素と呼ばれる、一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であり、対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものすべてが「いじめ案件」となるため、日々様々な案件があがる。学校としては、年度当初に全職員でいじめの定義を共有している。また「あいさつ」にフ

オーカスし、昨年までの取り組みを振り返り、本年度を「気持ちのよいあいさつができる元年」とし、あいさつから人間関係、信頼関係の構築を進めたいとの説明。

- ・ 学校目線での要点説明後、保護者目線、地域目線で子供のあいさつの現状に対する発言を求めた。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ 登下校中の子供を見ているが、目を見てあいさつできる子供が少ない。職員は目を見てあいさつをできるポイントを伝えていくべき。(柳川委員)
- ・ 旗振りの時、あいさつをしてくれる子、してくれない子どもどちらもある。自分の子供には声掛けしているが、各家庭でどのように声掛けをしているか知りたい。(中村委員)
- ・ とりあえずあいさつするという印象がある。中学になるとたち止まってあいさつできているので、小学校の時から習慣をつける大切さを感じた。(大石委員)
- ・ 声は出すが、目を見ないあいさつと、声は出さなくても顔を見て会釈するあいさつとでは、顔を見て会釈している方が印象に残る。教員(大人)側は子供にあいさつを求めるが、あいさつの受け取り手の表情、態度はどうか?(望月委員)
- ・ あいさつも子供の成長過程に応じてできるようになると考えれば、小学校の時間が種まき時期になるので、あいさつの習慣化は大切。ただ評価の仕方が難しい。またいじめに関して、授業の時間が一番長いからこそ、広いスパンで子供のいい所を教職員が汲み取ることが重要である。(鶴屋委員)
- ・ あいさつにも年度毎に波がある。あいさつはその人との距離によってもできる、できないがあるのではないか。(外波山委員)
- ・ あいさつは人との距離を近づけるもので人との関係性を構築するために近道でもある。(清水委員)

様々な発言の後、校長より、教職員(大人)の中にも温度差のある現状を鑑み、まずは大人から進んであいさつする共通認識を持つ必要があること、評価の難しさはあるが、焦らず一步一步進めていきたいと発言があった。

(3) 学校運営協議会の自己目標の決定について

司会の榛葉より、昨年度の自己評価表の項目4の部分を今年度の目標とすることを確認。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業に対する意見書(案)について説明があり、全員で承認した。

その他連絡事項等

- ・ 教頭安川より、こくみん共済協賛の旗振り用の安全棒を全家庭に配布しているため、見守りを地域全体で進めていきたい旨を報告。清水委員より地域安全ボランティアの高齢化も進んでいるため、安全棒を有効活用してもらいたいと返答あり。
- ・ 司会から、次回会議は、令和7年11月14日(金)午後13時15分から会議室で開催する旨の報告があった。